

論文審査の結果の要旨

報告番号	博（生）甲第316号	氏名	本田 圭助
学位審査委員	主査	早瀬 隆司	
	副査	戸田 清	
	副査	保坂 稔	
	副査	中村 修	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>本田圭助氏は、2008年4月に長崎大学大学院生産科学研究科博士後期課程に入学し、現在に至っている。同氏は、生産科学研究科に入学以降、環境科学を専攻して所定の単位を修得するとともに、地方自治体の持続可能な地域づくりに向けた政策の評価手法の開発に関する研究に従事し、その成果を2014年12月に主論文「持続可能な地域づくりに貢献しうる市民参加による地域政策評価枠組みの開発」として完成させ、参考論文として、学位論文の印刷公表論文1編（うち審査付き論文1編）、印刷公表予定論文1編（うち審査付き論文1編）を付して、博士（環境科学）の学位の申請をした。長崎大学大学院生産科学研究科教授会は、2014年12月17日の定例教授会において論文内容等を検討し、本論文を受理して差し支えないものと認め、上記の審査委員からなる審査委員会を設置した。委員は主査を中心に論文内容について慎重に審議し、2015年1月7日に公開論文発表会を実施するとともに、最終試験を行い、論文審査および最終試験の結果を生産科学研究科教授会に報告した。</p> <p>論文は1) 持続可能な開発にとっての地域の役割の重要性に着目し、2) そのための地方自治体の政策を持続可能性の視点から誘導していく必要性を認識し、3) そのために持続可能性の視点からの地方自治体の政策評価の枠組みの開発が必要であることを認識したうえで、地方自治体の持続可能な発展の観点からの評価のための指標の在り方と、その指標を用いた評価の枠組みの在り方について考察し、独創性のある地域政策評価の枠組みを開発したものである。委員からは、評価の持つ実質的意義、指標作成の過程での因子分析の持つ意義等に関する質問がなされたが、申請者から適切に回答があった。本研究は、今後の地方自治体における持続可能な発展戦略を推進していくうえで貴重なツールとして貢献しうるものであると評価することができる。</p> <p>学位審査委員会は、環境科学の分野において極めて有益な成果を得るとともに、環境科学の進歩発展に貢献するところが大きく、博士（環境科学）の学位に値するものとして合格と判定した。</p>			